

ふくしま復興学の創造に向けて

～現場から福島復興の持つ意味を考える～

未曾有の大規模災害、そしてその後の原発事故等の福島の苦難は、自然災害の恐ろしさや災害対応の重要性を私たちに実感させただけでなく、戦後の日本が構築してきた政治・社会・経済システムの歪みを露呈させました。人類はこの福島の経験を記録し、教訓として後世に引き継いでいかなければなりません。私たちは、この福島の教訓を言語化し整理・体系化した学問としての「ふくしま復興学」の創造を目指しています。

本シンポジウムでは、「ふくしま復興学」創造に向けた第一歩として、福島復興現場で活躍される方々のご意見をお聴きすることで、未曾有の大規模災害とその後の原発事故を経験した福島の教訓を捉え直し、新しい学問体系を構築する上で必要な論点を探り、その全体像を把握することを目指します。

プログラム

第一部、第二部参加費無料

第1部 13:00～15:00

① 福島大学行政政策学類 丹波史紀 准教授 プレゼンテーション
「ふくしま復興学の創造に向けて」

② 登壇者 8 名によるスピーチ

① 鈴木 寛 氏 (東京都選出参議院議員, 元文部科学副大臣)

② 半谷 栄寿 氏 (福島復興ソーラー株式会社 代表取締役社長)

③ 中村彰二郎 氏 (アクセントア福島イノベーションセンター 所長)

④ 玉川 啓 氏 (福島県浪江町復興推進課 主幹)

⑤ 荒井 優 氏 (東日本大震災復興支援財団 専務理事)

⑥ 藤沢 烈 氏 (一般社団法人 RCF 復興支援チーム 代表理事, 復興庁政策調査官)

⑦ 木戸 寛孝 氏 (株式会社 umari)

⑧ 中村 美紀 氏 (山形県避難者母の会 代表)

※登壇者は急ぎよ、変更する可能性もございます。あらかじめご了承ください。

③ 参加者による問題意識の共有

第2部 15:00～17:00 ワークショップ

第3部 17:00～19:00 懇親会 (立食パーティー) ¥5,000 円 *懇親会参加者のみ当日お支払いください。

日時 平成 24年 12月16日(日) 13:00～19:00

会場 東京会場 リージャス汐留ビルディングセンター 汐留ルーム
東京都港区海岸 1-2-20 汐留ビルディング 3階
福島会場 福島大学 行政政策学類棟2階 大会議室
福島県福島市金谷川1

主催 国立大学法人 福島大学 (事務局:『ふくしま復興学』デザイン研究会)

共催 一般社団法人 国立大学協会

お問合せ 『ふくしま復興学』デザイン研究会 TEL 024-548-8272

E-mail motoshikanke@gmail.com [担当 管家]